

やっぺす通信とは「よこはま型若者自立塾」による石巻復興支援プロジェクト【うんめえもん市】の活動や石巻の現状、若者支援の活動報告をお伝えしています。石巻の美味しいお弁当を食べながら、遠く東北の地で頑張っている若者達に想いを寄せていただけると嬉しいです。今月もおいしいもの満載でお届けします～。



**「うんめえもん市応援団！」 応援ファイル NO.3 横浜市健康福祉局福祉保健課長 松本均さん**

松本さんは東京事務所に所属されていた時に、国の視察対応などでK2に来られたのがきっかけですが、ご自身も被災地の支援に力を入れておられ、これまでも様々な復興イベントへの出店などご紹介いただきました。東京事務所から市役所に戻ってこられ、ますますうんめえもん市の応援をしていただけると期待しています！^^

**【新たな生活困窮者支援制度への期待 中間的就労を中心に】**

横浜市健康福祉局福祉保健課長 松本 均

厚生労働省は今国会に生活困窮者支援法案を提出し、**中間的な就労の場を確保**することなどに総合的に取り組む。中間就労とは、通常の労働市場における就労と、障害者総合支援法に基づく福祉的就労の中間に位置する就労のことをいう。雇用契約を結ばないで訓練として就労を体験するタイプと、雇用契約を結び、ジョブコーチなどの支援を受けながら就労するタイプがあり、支援が必要な人の状況に応じて、柔軟な働き方を提供する場である。

**中間就労の対象者**は今後創設される相談機関で支援決定を受けた者であり、具体的には**経済的に困窮している者**などで、**長期間就労についていない者、引きこもり・ニート、障害者**などが想定されている。

受入事業所は、中間的就労の対象者を一定程度受け入れている事業所と一般事業所の2類型となる見込み。就労形態は対象者に適した業務となり、軽作業が中心で、就労日、時間も個々の対象者にあわせてフレキシブルなものとなっている。また、対象者をサポートするために事業者において、就労支援担当者を配置し、就労支援プログラムを作成し、支援を行っていく。賃金は雇用と非雇用の場合で異なるが、非雇用の場合であっても一定金額が支払われる。このように、かなり柔軟性に富んだ就労形態であるが、課題もある。

いわゆる貧困ビジネスと言われるように、安い賃金で対象者に就労を強いることにならないか、事業者にも一定の負担がかかることから、多くの事業者を確保することができるか、対象者、事業者を結び付け、自立の方向に導くフォロー体制がとれるか。

K2インターナショナルでは、引きこもり・ニートの人が**アパートや戸建て住宅で共同生活**を行いながら、**農作物を耕作し販売**したりして、様々な働く場を作っている。また、震災後、石巻にアパートを一棟購入（K2石巻ハウス）し、引きこもり・ニートの人が共同生活を行いながら、地元の漁師さんの協力を得て、牡蠣の養殖の手伝いや、再建した水産加工会社で短期間の就労も行っている。横浜では引きこもり・ニートであったが、横浜から石巻に行き、復興のお手伝いをする中で、自分は被災地の復興のために役立っているという自信をつけて、横浜に戻ってくる若者もいる。（24年度参加者50人）朝起きて、食事をして、職場にいき、皆にあいさつをし、仕事をこなす。こうした基本的なことをこなしていき、自信をつけていく。しかし、**なによりも自分は社会の為に、被災地の為に、役立っているのだ**ということを実感できることが大事ではなからうか。

K2インターナショナルでは、横浜市役所、区役所など市内の会場で、「うんめえもん市」と称して、引きこもりやニートの若者たちが石巻の特産品を販売している。（24年度100回以上実施）こうした取り組みも中間的就労の場になりうる。生活保護基準が引き下げられようとしているが、**新たな生活困窮者支援制度の創設は生活困窮者の総合支援**として必要不可欠であるため、今国会での法案成立が望まれる。

5月9日(木)～5月14日(水)で「よこはま型若者自立塾 JOBCAMP」の石巻復興支援合宿プログラムが行われました。ニートや引きこもり状態だった10名の若者たちが横浜から石巻へ来て、本田水産株式会社と若手の牡蠣漁師のグループ、渡波オイスターズのもとで復興・就労体験をしながら1週間の合宿生活をしました。ちょうど小女魚(コウナゴ)が水揚げされたために佃煮にするための作業や、天日干し作業をし、渡波オイスターズのもとでは牡蠣養殖に必要なホタテの貝殻を使った原盤通しという作業をしました。

前回の短期合宿では、わかめの加工作業などを体験し、それ以来、3名がインターンシップから、アルバイトという道を作っていただきました。正直仕事のスピードは遅く一人前とはとても言えませんが、仕事は山ほどあり毎日「今日も来てくれてありがとう」という言葉をかけてもらう事が、これまで就労の場や社会の中で生きづらさを抱え、一歩踏みとどまっている若者には大きな励ましになると思います

受け入れる側の、本田水産株式会社は100名の従業員の方々が働いていましたが、現在は60名ほどになっています。津波で家屋が流されてしまい仮設住宅に入り働きに行くには遠くなった人、沿岸部へ来ると震災当時のことがフラッシュバックしてくるため戻れない方々……。常時求人募集をかけているものの、なかなか人手の確保が出来ないというのが現状で、本田水産に限らず人手不足や高齢化は水産業界の課題となっています。

震災後、多くの支援者、支援団体が被災地に入りました。炊き出し、瓦礫撤去からはじまり、今もなお仮設住宅団地支援や街づくりを始め現地に残って様々な活動されている方々もいらっしゃいます。しかし生産者が作ったものを販売するお手伝いをしたりする人はいても、実際に人手不足の漁業界に入り、そこで就職したり、継続的に仕事を続けている方々はあまりおらず、実は本田水産株式会社のように震災後からずっと継続して働いてくれる人手を必要としているところがまだまだ沢山あります。

働く事に自信を無くしている若者にとって、石巻は支援されるだけでなく、現地の人達との助け合いによって若者の雇用も被災地の活性化もできるモデルだと思います。ぜひ、また石巻にお越しください。

☆ほぼ石巻っ子?になっているスタッフ 福島 竜☆

## うんめえもん市×若者就労支援 @日本丸メモリアルパーク

GWの4日間、日本丸メモリアルパークにてうんめえもん市の出店をさせていただきました。今回で2回目、4日間を通して天候に恵まれ(途中海風に物産が飛んでいくというハプニングもありましたが…)、フリーマーケットあり、ステージあり、たくさんの方で賑わうイベントでした。その中でたくさんの方と交流する貴重な機会を得ることが出来ました。観光エリアのみならずみらい地区ということもあり、横浜各地のお客様にお会いしました。その中で、最寄りの区役所で買ったことがある、新聞で見たことがあるなど、うんめえもん市をご存じの方が何人もいらっしゃいました。私たちの活動を認知していただいていることを、とても嬉しく思います。継続の力を強く感じる事が出来ました。

イベントでのうんめえもん販売メンバーは、K2グループでの職業訓練生と、その期間を経て現在スタッフとして就労中の者で構成されています。石巻支援を通じてたくさんの経験を積ませていただいています。

まだまだ自立の途中段階ですが、頑張ってお客・販売させていただいております。

これからも「忘れないこと・続けること・進化すること」をモットーに、活動を行ってまいります。

どうぞ応援よろしくお願ひいたします。

☆うんめえもん市スタッフ 高岡 慶考☆

### ◆うんめえもん市 5・6月開催予定◆

- 5月22日(水)鶴見区役所、24日(金)栄区役所、26日(日)湊フェスタ(10:00～15:30: 沢渡中央公園)
- 27日(月)西区役所、28日(火)磯子区役所、30日(木)都筑区役所
- 6月 3日(月) 旭区役所、8日(土)K2ビル1階(にこまる本店)、10日(月)金沢区役所
- 15日(土)16日(日)日本丸メモリアルパーク (10:00～16:00)、17日(月)横浜市役所本庁舎1階
- 21日(金)栄区役所・磯子区役所、24日(月)都筑区役所

※予定は変更されることがあります。詳しくは事務局までお問い合わせください。



ちあつきー

やっぺす通信発行元

NPO ヒューマンフェロシップ

うんめえもん市事務局 TEL045-762-1435(田上・亀山)